

江古田の森だより

vol. 48



東京総合保健福祉センター 〒165-0022 東京都中野区江古田 3-14-19
TEL. 03-5318-3711 FAX. 03-5318-3712
E-mail: egotanomori@mt.strins.or.jp

<http://www.kaigo-egota.com/>



2020年5月発行

ホームページ随時更新中!



今月の表紙

長時間通リハ “散歩の途中で…”

長時間通所リハビリでは屋外歩行訓練や余暇活動としての散歩を実施しています。外を歩きながら、皆さん四季折々の江古田の森を堪能しています。この時期は桜を目的に多くの利用者さんが散歩を楽しまれました。

発行 / (社福) 南東北福祉事業団 東京総合保健福祉センター 江古田の森 広報委員会 印刷 / 石井電算印刷株式会社

設立理念

東京総合保健福祉センター江古田の森は「すべては利用者さんのために」の法人団是の下、高齢者福祉及び障害者福祉の地域の拠点として「住み慣れた地域で生涯生き生きと暮らし続けられるため」に、地域の皆様や利用者、家族に「安心と安全」を提供します。

関連施設

- 特別養護老人ホーム 江古田の森
- 介護老人保健施設リハビリテーションセンター 江古田の森
- ケアハウス 江古田の森
- 障害者支援施設(施設入所支援・生活介護) 江古田の森
- 通所リハビリテーションセンター 江古田の森
- デイサービスセンター 江古田の森
- 居宅介護支援事業所 江古田の森
- 訪問リハビリテーションセンター 江古田の森
- ヘルパーステーション 江古田の森
- 森のほいくえん
- 訪問看護ステーション 江古田の森
- デイサービスセンター ゆずりは
- ケアホーム やまゆり

ケアハウス 調理活動

月替わりで行っているユニット行事ですが、今月は、もみじ・ききょうユニット利用者の方を対象に「お好み焼きパーティー」を開きました。

午後から利用者さんにお手伝いして頂きながら作ったお好み焼きを15時にみんなでお腹いっぱい食べていただきました。とても盛り上がり美味しかったです。普段よりこの時はたくさん召し上がっている方が多かったです。

当日入所されたご利用者様も楽しく参加され、皆さんと早くから打ち解けていらつしやいました。

制作活動

デイサービスセンターゆずりは

ゆずりはでは、毎月のイベントで季節に合わせた制作活動期間を設けています。今回は折り紙で『兜』を作りました。細かく折る過程が難しく苦戦しながらも



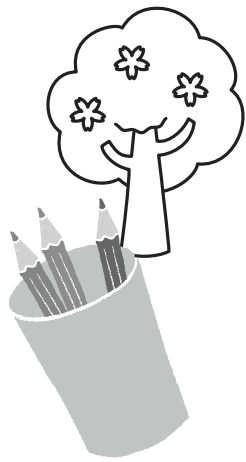
「ここはどう折るのですか」「これで合っていますか」など職員に聞きながら一生懸命折られていました。完成すると達成感から「良く出来たわ」「お家に飾ろうかしら」と大変喜ばれていました。

毎日の活動

デイサービスセンター江古田の森

デイサービスセンター江古田の森では毎日午前中に脳トレ・塗り絵の時間を設けています。職員がその季節に合った塗り絵を用意して、利用者さんが思い思いに色とりどりの色鉛筆で色付けをしてくださいました。塗り絵は下絵に書かれている絵を認識し、色を選び、着色するといった一連の作業において脳全体を活性化する効果があります。

江古田の森の利用者さんの元気の秘訣はここにもあるかもしれません♪



介護老人保健施設 今年も咲きました♪

外出ができない中、どうにかお花見が出来ないかと考え貼り絵で桜を作ることに！

職員が作成した桜の花びらを各自で配置を考えて貼りました。完成した桜を見ながらおやつを皆さんで頂きました。皆さま、うれしそうなお顔が並んでいました。



新装開店

短時間通所リハビリテーション

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、4月16日から短時間通所リハビリの利用について自粛を要請しました。皆様にはしばらく会えないのが本当に寂しいです。でも、この時期をしつかり活かすべく事業所内の大掃除をしています。

掲示物や物品の整理整頓から片付けまで。始めたら段々大がかりに。配置換えや掲示物など作り替えたり、まるで「新装開店！」



再開の時期までしっかりと体制を整え、いつでもお迎え出来るよう準備しています。

障害者支援施設 誕生日会

ようやく春が近づき、様々な植物が開き始める季節となりました。障害のふらたなすユニットには3月に誕生日を迎える方が4名もいらつしやるといいう事で、合同のお誕生日会を開催しました。

飾り付けた通所フロアに集まり、お菓子やジュースに舌鼓を打ちながらバースデーソングを全員で歌い、その後、その後は手書きのメッセージカードを持って記念撮影。満面の笑みを見せてくださいました。時節柄、外出等のイベントが出来なくなっておりますが、利用者様の心に寄り添いながら、楽しい思い出を作っていくよう日々支援して参ります。





「こころとからだの健康を保つ生活を送みましょう」

1. 感染流行ではさまざまなこころの問題が生じます
感染の拡大は、人のこころに不安や恐怖、強い怒り、興奮、不眠など様々な気持ちを生じさせることがあります。

さらに今、隔離や自宅待機などの感染対策がとられています。感染拡大防止のためにやむを得ない面はありますが、行動の自由を制限されると、喜怒哀楽の感情が失われたり、強い不安を感じたり、周りの状況が他人事のように感じられたり、自分がいじめられ、疎外されている気持ちが生じる「拘禁反応」と呼ばれる特有の心理状態が生じることがあります。また、親しい関係の一人が感染のため隔離されると、残された人が引き離された不安や抑うつを感じる場合があります。

これらの反応は決して特別なものではなく、この状況では誰にも起こり得る自然な心理反応です。特に拘禁反応は、通常は、隔離が解除されれば改善します。ただこうした状態が長く続く、こころやからだに不調をきたす可能性があります。その場合には、精神医学や心理学の専門家に相談しましょう。

・厚生労働省より、こころの健康を守るために下記のことがかかれています。

- お互いにコミュニケーションを取りましょう
- 誰でも、不安や心配になりますが、多くは徐々に回復します
- 眠れなくても、横になるだけで休めます
- つらい気持ちは「治す」というより「支え合う」ことが大切です
- 無理をしないで、身近な人や専門家に相談しましょう

周りの人が不安を感じているときには

- 側に寄り添うなど、安心感を与えましょう
- 目を見て、普段よりもゆっくりと話しましょう
- 短い言葉で、はっきり伝えましょう
- つらい体験を無理に聞き出さないようにしましょう
- 「こころ」にこだわらず、困っていることの相談に乗りましょう

特に子どもについては、ご家族や周囲の大人の皆様はこのようなことに気を付けましょう

- できるだけ子どもを一人にせず、安心感・安全感を与えましょう
- 抱っこや痛いところをさするなど、スキンシップを増やしましょう
- 赤ちゃん返り・依存・わがままなどが現れます。受け止めてあげましょう

引用文献：

・厚生労働省：こころの健康を守るために
<https://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/2r98520000015or4.html>

看護師 今田 香

感染予防対策について

江古田の森での感染症予防の取り組みをお知らせします。

- ① 事業所内の消毒薬の設置。
- ② ご利用者様・職員の手洗い・うがいの徹底。
- ③ ご利用者様・職員の検温の実施。
- ④ 職員のマスク着用（ご利用者様は任意）。
- ⑤ 定期的な換気の実施。
- ⑥ 加湿空気清浄器の設置。
- ⑦ ご利用者様の座席間隔の拡大。
- ⑧ 外部からの面会制限。

それ以外にも、37度以上の発熱のある職員の出勤停止、同じくご利用者様には利用を控えて頂いています。また、海外渡航歴のあるご家族がいらっしゃるご利用者様にも2週間ご利用を控えて頂いております。

どのような取り組みをしても100%安全という事は言えませんが、出来るだけ皆さまが安心してご利用できるように取り組んでまいりますので、今後ともご指導のほど、よろしくお願い致します。



公開セミナー中止のお知らせ

新型コロナウイルスの影響により、予定されていた公開セミナーを中止することとなりました。今後の公開セミナーの開催については、決定次第ホームページなどで順次お知らせさせていただきます。ご迷惑をおかけして申し訳ありません。

施設方針

平成29年1月1日

- 東京総合保健福祉センター江古田の森は、地球の環境保全並びに環境負荷軽減を、介護・福祉サービス活動において常に考慮し、顧客満足を維持しつつ、社会貢献していきます。
- 環境問題関連を含む法令、その他の要求事項を遵守して、福祉サービスを提供します。
 - 医学的、教育的、心理的、社会的リハビリテーションを提供し、利用者の生活の質を向上させることで、自立と自己実現を目指します。
 - 利用者の自己決定と選択を尊重し、利用者の願いや思いを大切に、利用者の気持ちに寄り添った支援をします。
 - 職員は、専門性の向上のために不断の努力をし、研修及び研鑽を積みみます。
 - 介護・支援・福祉サービスにおける環境影響評価を適切に行ないます。
 - より良い福祉サービスの実現と環境負荷の軽減のための施設目的・施設目標を設定するとともに定期的に見直しを行い、統合マネジメントシステムを継続的に改善していくことを通じて、福祉サービスの質の向上と環境パフォーマンスの向上を積極的に推進します。
 - 福祉サービスの提供にあたって、事故防止、感染防止、汚染防止に努め、施設環境の快適性を推進します。
 - 施設方針は、全職員に周知するとともにホームページ等を通じて一般に公表します。